

■7月23日

スパイスジェット(LCC)、外国人パイロットを解雇、ドル高が響く

(レスポンスによると)

スパイスジェットはドル高の影響により給与額が上昇したため続々と外国人パイロットを解雇している。

1年前は100人いた外国人パイロットも今では25人に。これにより年間9億Rインド・ルピーはセーブできると見られている。

外国人パイロットの雇用には給与がインド人よりも約3倍かかるだけでなく、住居の提供や数ヶ月に一度の母国への一時帰国費用も負担しなければならないとのこと。

現在はインド人パイロットだけでは操縦に不安が残る新機体、ボンバルディアQ400のみに外国人パイロットが配置されている。

(レスポンス)7/22

<http://response.jp/article/2013/07/22/202666.html> (-> <http://response.jp/article/2013/07/22/202666.html>)

デルタ航空、パイロット300人採用、2010年以来の追加採用

デルタ航空は19日、パイロット300人を11月から採用すると発表した。「アトランタ・ジャーナル・コンスティテューション」が19日伝えたもので、同社にとって2010年以降で初の追加採用となる。

報道によると、デルタは11月から2014年初めまでパイロットを毎月50人のペースで、その後14年9月までは毎月20人を追加する。

(WSJ)7/22

<http://jp.wsj.com/article/SB10001424127887323689904578621272951015386.html> (->

<http://jp.wsj.com/article/SB10001424127887323689904578621272951015386.html>)

ボーイング787関連:ELT自主点検、日航一終了、全日空一來週末に全機終了

(bloombergによると)

ロンドンの空港で起きたボーイング787(ドリームライナー)の出火事故を受け、日本の航空会社も原因とみられる航空機用救命無線機(ELT)の安全確認を進めている。日本航空は、同社が保有する9機のB787型機全ての点検を終了し、現在通常運航を続けている。

同社の広報担当者、南場太郎氏が22日、ブルームバーグ・ニュースの電話取材に対し「19日からELTの目視による自主点検を始め、既に完了している」と明らかにした。その上で、現在は通常の運航を続けていると述べた。

一方、同型機を世界最多の20機保有するANAホールディングス傘下のANAの広報担当者、手塚愛美氏は「19日から自主点検を始めており、来週末までには全機終える予定だ」と語った。同社も現在、通常運航している。

(bloomberg)7/23

<http://www.bloomberg.co.jp/news/123-MQBVIA6TTDWH01.html> (-> [http://www.bloomberg.co.jp/news/123-](http://www.bloomberg.co.jp/news/123-MQBVIA6TTDWH01.html)

[MQBVIA6TTDWH01.html](http://www.bloomberg.co.jp/news/123-MQBVIA6TTDWH01.html))

(日刊航空)7/23

<http://www.da-news.co.jp/xhp/2013-0723-02.pdf> (-> <http://www.da-news.co.jp/xhp/2013-0723-02.pdf>)

